

◆◆◆ 気象観測統計データの提供方法の変更について

気象庁では、地域気象観測（アメダス）に新たに最大瞬間風速の観測を追加するなどの整備を順次進めております。また、気象観測統計データを作成する地域気象観測と地上気象観測の観測処理システムを更新し平成20年3月25日から運用を開始しました。

新たな観測の追加などの整備が整った地域気象観測（アメダス）の気象観測統計データは、下記のとおりきめ細かい観測値となります。

- (1) 地域気象観測（アメダス）の降水量の単位が1mmから0.5mmに、10分間平均風速の単位が1m/sから0.1m/sに変更、地上気象観測の全天日射量日合計値の単位が0.1MJ/m²から0.01MJ/m²に変更
- (2) 地上気象観測（アメダス）の最大瞬間風速、最大10分間降水量の統計値が追加
- (3) 地域気象観測（アメダス）の日最高気温・最低気温などの極地の算出データが10分毎の観測値から10秒毎の観測値に変更

これまで、当センターからの気象観測統計データの提供は、インターネットを利用して当センターの気象データ提供システム（メテオ i-NET）にアクセスのうえダウンロードして取得いただく方法によってまいりました。しかし、変更後の気象観測統計データに対応した提供を行うためには、メテオ i-NETを大幅に変更する必要があり、この変更のため利用者に多額な負担の増加をお願いせざるをえないこととなります。

このため、変更後の気象観測統計データについては、当センターで実施している既存の方式により提供することとします。なお、メテオ i-NETによる従来の気象観測統計データの提供は平成21年3月末をもって終了することといたします。

- (1) オンラインによる提供
数値予報データやレーダーデータなどを提供しているオンラインの「ファイル形式データ」として前日分を翌日に提供します。このサービスは本年10月1日から開始します。
- (2) メディア（CD-ROM）及びダウンロードデータによる提供
メディア（CD-ROM）による提供、及び当センターの提供システムにアクセスのうえダウンロードして取得いただく方法による提供については、本年12月からの開始を予定しております。